

新・港村

公募事業のお知らせと横浜市民へのご協力をお願い

建築家・美術家・パフォーマー 住居・材料

横トリと特別連携する「新・港村」では多くの専門家によって展覧会が構成されますが、可能な限り多くのクリエイターの方々や広く市民の方に開いていきたいと考えています。具体的には、いくつかの部門で公募プログラムを開催したいと思います。奮って応募ください。

また、新・港村では、村で活動される長期滞在の国内外のクリエイターのために、居住空間を提供していただける方を募集しています。是非市民の皆様の参画をお願いします。

さらに、村を形成する材料も集めています。展示会で使用した不要パネル/木製、不要になったソファ、タンス・箱物、布や衣料等をご提供いただければと存じます。



新・港村 2011年 8月6日[土] → 11月6日[日] (休館日 = 8月と9月の木曜日+10/13[木]、10/27[木])
小さな未来都市 時間=11:30-19:00 (金曜の夜は21時まで) 会場=新港ピア(横浜市中区新港2-5)

新・港村はあらゆる国と種類のクリエイターが働く屋気楼のような小さな未来都市です。村の家や図書館や劇場は、建築家やアーティストによってデザインされますが、主に廃材や粗大ゴミ等で構成されます。新しい材料を使用した場合は、再利用します。そして外部からほとんど電気をいただきません。太陽光発電と充電システム、また楽しみながらの人力発電でなんとかやっています。夜はLEDや行灯が灯ります。新・港村は、東北と横浜の間を人や物資や知恵や力を積んで、何度も往來するためのプラットフォームです。毎週でるバスが、東北人と新・港人をつなぎ、未来都市へと出航します。

主催: BankART 1929 共催: 横浜市文化観光局

公募のお知らせ

under35ギャラリー公募プログラム

会期中、新・港村のunder35ギャラリーでは、35歳以下の建築家、写真家、アーティストの企画連続個展を行ないますが、その一部に公募枠を設けたいと思います。

募集対象	原則として造形作家
審査方法	書類選考+面接
審査員	原口典之(美術家)、児島やよい(フリーランス・キュレーター) 福住 廉(美術評論家)
募集開始	2011年6月13日(月)
募集〆切	2011年7月11日(月)必着
結果発表	2011年7月18日(月)
BankART提供	カタログ制作:B5/20頁/1,000部(うち500部贈呈)/紹介文(日英) オープニングパーティ費、広報費、出品補助費(15万円)
提出書類	A4サイズ1枚に経歴、連絡先(住所・メールアドレス・電話) ポートフォリオ(A4サイズ)またはCD、DVD

Cafe Live 2011公募プログラム

Cafe Live 2011プログラムでは、新・港村で作品を発表する若手パフォーミング・アーティストを募集します。

募集対象	新・港村で上演可能なパフォーミング・アーツ作品。ジャンル不問
募集開始	2011年6月13日(月)
募集〆切	2011年7月11日(月)必着
結果発表	2011年7月18日(月)
審査員	前田圭蔵(クリエイティブディレクター)、中村恵恩(振付家) 武藤大祐(舞踊評論家)
採択件数	数チーム
公演予定日	2011年8月27日(土)、9月3日(土)、17日(土)のいずれか
BankART提供	会場と基本的な音響・照明機材(3日間ほどの稽古期間を含む) 広報及びチケット販売(観客動員については採択者も行なう) 受付及び現場スタッフ補助 チケット収入総額の80%を同日出演チーム数で分割した額 高画質の公演記録映像制作。完成DVD進呈
提出書類	A4サイズ1枚に経歴、連絡先(住所・メールアドレス・電話) 作品プランの説明文(A4サイズ1枚) 映像資料(DVDに3分程度にまとめたもの+全録したもの)

横浜市民へのご協力をお願い

住居の提供のお願い

新・港村では国内外のクリエイターを多く招いております。彼らは新・港村で8月1日~11月10日までの間、数日から3ヶ月活動しておりますが、長期間滞在されるチームにはアパートのような居住空間を提供したいと考えています。もし現在ご利用をしていない住宅(アパート/マンション/団地/一軒家)があれば、是非、ご提供いただけないかと存じます。

あるいは、もしホームステイをお引き受けいただける方がいらしたら、その方向でもご検討いただければと存じます。

「新・港村」という横トリと特別連携する展覧会のコミュニティ形成のプログラムであるということをご理解の上、ご提供、ご協力いただければありがたいです。もちろん、家賃相当分はこちらで負担させていただきます。

延べ住居戸数	合計30部屋
契約期間	8月1日~11月30日のうちの1ヶ月以上
エリア	横浜市全域
入居者	相談の上
契約者	特定非営利活動法人BankART1929

問い合わせ・送付先

〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 BankART Studio NYK 新・港村公募&市民参画係
mirai@bankart1929.com 045-663-2812 (6月26日まで) 045-228-8212 (6月27日より)

建築設計部門公募プログラム

新・港村を構成する建物はそのほとんどが建築家やアーティストの手によりますが、一棟だけ公募部門を設けます。

募集内容	新・港村Dゾーンの敷地40平米の建築(入居者は国際的横断的機関)
募集開始	2011年6月13日(月)
募集〆切	2011年7月18日(月)必着
提案形式	配置図+平面図+B5サイズのアイデアノート一冊+1/30の模型
審査方法	一次審査(8名程度に絞り込む) 公開二次審査 8月7日(日) 新・港村にて
審査委員	小嶋一浩(建築家)、曾我部昌史(建築家)、馬場正尊(Open A)
着工予定日	2011年8月22日(月)原則として提案モデルを基に主催者側で施工
施工費用	全額主催者負担
謝礼	20万

[設計概要]

新・港村ゾーンD「郊外」は郊外の住宅地です。この先の横浜の姿をふまえた、新しいかたちの住宅が建ち並ぶ街並みをつくり出したいと考えています。その一角に建つ住宅の設計者を公募します。応募概要の条件を参照しながら、この場所にふさわしい住宅を提案してください。住宅として設計をしていただくわけですが、会期中は公益社団法人企業メセナ協議会など国際的横断的組織の活動拠点として用いられることをご承知おください。

[周辺環境]

ゾーンDは天井の高くない(約5.5m)区画ですが、北側の開口部からは海を臨み、東西に設けられた開口部や屋根のトップライトから光が注ぐ、明るく開放的な環境です。敷地となるのはゾーンDの東南の角。東側隣地にはワークステーション(高橋晶子+高橋寛)が設計する建物が、木立越しに面する正面の敷地には夫学柱が監修する倭館が建つ予定です。応募概要の現地写真も参照してください。

[設計条件]

詳細については応募概要を参照してください。法的な規制による制限や、制作上の方針などについて記載してあります。建物(展示造作)は、廃材・再利用品か、会期終了後に別の用途で活用する素材で構成しますが、提案する上では必ずしも再利用することを考慮する必要はありません(基本的には主催者側で検討します)。

[審査基準]

設計条件などに適合していること。展覧会全体の意図に合っていて、ゾーンD「郊外」にふさわしい提案であること。

応募概要は下記よりダウンロードしてください。

http://www.bankart1929.com/archi_kobo.zip

素材提供のお願い

新・港村では村の建物やインテリアを、イベントで活用したパネル、タンスやソファ等の大型の不要品を用いて、制作する部分があります。以下のようなものを集めておりますので是非、ご提供、あるいは情報のご提供をお願いします。まずはご一報ください。

展示会等で使用した不要パネル/木製数十枚(会場を構成するアーティストのスタジオや工房のための)

タンス(ボックス的なもの)200台程度(図書館制作のための)

ソファ(または大型の椅子)60台(海の見えるカフェ&パブ等のため)

古着・不要布 大量(古着を使っの新しいデザイン縫製工場のための)